



2026 WINTER No.72

SEASON



写真: ホイットマン像と中央図書館

ISSN 1349-3760

コラム

- 2 「図書館は何をする場所?」
教育学部 二瓶 正登 講師

図書館イベントレポート

- 7 ミニコーナー 図書館のとある日常
中央図書館 最近の企画展示

図書館掲示板

図書館は何をする場所？

教育学部 二瓶 正登 講師

皆さん、図書館は使われていますか？このコラムを読まれている方であれば、おそらく普段からよく使われている人が多いと思います。その一方で「何となく使いにくい」「家（カフェ）の方が落ち着く」「自分で買った本じゃないと落ち着いて読めない」などなど、ついに図書館を敬遠してしまう人が多いのも現状でしょう。特に電子書籍の文化が発展してきた現在、ますます図書館の役割は薄れてしまっているような感覚もあります。こうした風潮に対抗して、今回のエッセイでは「この時代だからこそ輝く図書館の使い方」について書いてみようと思います。

「この時代だから」と銘打ってしまいましたが、「図書館は使いにくい」という苦手感は現代だけではないようです。1987年出版の『現代読書法（著：田中菊雄）』という書籍には「図書館の利用法」という章があり、ここで多くの人が持つ図書館への不満が述べられています。筆者はこうした不満を取り上げた後に、効果的な図書館の使い方を指南しています。その中から、筆者が勧めている図書館の使い方を2つ紹介してみます。

1. 図書館を書斎の延長と思え：図書館を「本を借りる場所」と考えている人は多いのではないでしょうか。しかし筆者はあえて図書館にある本を「自分の本」と考えることを勧めています（もちろん雑に使ったり、盗んだりしてはいけません。余談ですが、最近の人は借りた本の使い方が雑であると筆者は嘆

いています。どの時代も一緒ですね）。図書館にあるすべての本を自分の本と考えれば、図書館は書斎、現代風に言い換えるならば「大量の本を置いているレンタルルーム」とでも言えるでしょうか。しかもこの書斎、自分でお金を出して買うことなく新しい本がどんどん増え、そして（自分でやるにはとても面倒な）本の整理もしてもらえます（読書好きにとってこれ以上ない夢のようなサービスですね！）。つまり図書館は少し見方を変えると「本の無料購入オプションと自動整理機能が付いた書斎」に変貌を遂げることになります。また、図書館には椅子と広い机が当然ですが置いてあります。つまり本棚だけでなく、広々とした読書スペースも付いています（しかも無料で！）。このように少し見方を変えるだけで、図書館が急に魅力的な存在になってきませんか？

2. 自由に本を手に取ってみよ：読書好きの皆さん、こんな経験はありませんか？ふとネットで買い物をしている時に面白そうな本のタイトルを見つけ衝動的に購入。届いた後、ワクワクして読む。「あ、思ってたのと違う…」。あるあるですね。考えてみると、書店で直接買う時にこのような経験はほとんどありませんでした。理由は簡単、書店では「手に取って中身をパラパラ読める」からですね。筆者はこの「パラパラ読む」ことを図書館が持つ役割として非常に重要視しています。例えば図書館の書架を見て、気になった

タイトルの本があったらパラパラと見てみる。もし興味がそそられる本があれば、タイトルを覚えておき書店に行って購入する。そういう使い方があっても良いと筆者は推奨しています。現代ではネットで本を買うことが増え、大型書店も徐々に姿を消しています。これにより「自由に本を手に取ってパラパラ読む」機会そのものが格段に減ってしまいました。こうした現代だからこそ、図書館の価値はより上がっているはずです。

最後に、私がたまにしている図書館の使い方をお伝えします。それは「図書館散歩」です。「ただ散歩するだけなら、図書館の中より学内の自然豊かな中を歩いた方がいい」という声が聞こえてきそうです。ただしこの図書館散歩には、1つルールがあります。それは「図書館の開架フロアにある全ての本のタイトルを眺めること」です。つまり閉架書庫以外の全フロアにある全本棚、全書籍のタイトルを目で追いながら散歩することです。やってみるとわかるのですが、不思議なもので毎回同じ本を眺めているはずですが、自分の体調やモチベーションによって目に飛び込んでくる本が全く違うのです。心身の調子が悪かったり、仕事に追われて焦っている時はどの本にも興味が向かず、楽しい気持ちも残念ながら湧きません。しかし心身の調子がよくフレッシュな時は、これまで興味が湧かなかったような本や、気づかなかった面白そうな本がどんどん目に飛び込んできます。最初はなかなか



か大変ですが2回、3回と続けていくと、自分が全く知らない学問領域のタイトルが急に魅力的になったり、反対に前に見た時に強く惹かれたはずの本に全然興味が向かなかったりと、人間の心の不思議さにも気づくことが出来ます。これも大型書店が無くなりつつある今、図書館でしかできない贅沢な時間の使い方と言えるのではないかでしょうか。

さあ皆さん、図書館に行きたくなってきたでしょう？

イベントレポート

図書館

2025年秋に行われた
イベント「創大祭」「図書贈呈会」
をレポート。

「創大祭」では、Soka Reading Project（以下、SRP）が企画した展示や参加型イベント、トークイベントを行い、約1000名の方にご参加いただきました。

「図書贈呈会」は
図書館恒例イベント。秋も深
まるこの季節。屋外で開催さ
れたイベントですが、こちら
多くの方にご参加いただきました。



創大祭

2025年10月
11日（土）
12日（日）
13日（月・祝）



図書贈呈会

2025年11月
17日（月）
～
21日（金）



創大祭

記念展示「Soka Book Wave 20年軌跡」
1階ラーニング・コモンズにて展示を実施しました。
奇しくもSBW誕生と時を同じくして生まれた現役大学生たちが、これまでの読書推進活動の歴史を振り返り、学んだことを年表とともに展示しました。展示の一角落には「折り紙コーナー」を設け、幅広い来場者に見ていただける展示となりました。



創大祭

参加型イベント「創大図書館でかくれんぼ」
中央図書館内に隠れているキャラクター「ブックン」を探す参加型イベントを実施しました。

1階～3階まで図書館をめぐりながら、随所に隠れている「ブックン」を探して、クイズに答えてもらいました。すべての答えを見つけた方にはステッカーをプレゼント。初めて図書館に来た方も、久しぶりに図書館を訪れた方も、お友達同士や親子で楽しく館内を見学していました。



創大祭

図書館長・伊藤貴雄教授によるトークイベント

図書館長である文学部の伊藤貴雄教授が「AI時代にこそ読書の力～「知の宝」を共に探そう～」をテーマに、二チエ『ツアラトウストラはこう言った』を通して、参加者と読書の意義を考えるトークイベントとなりました。



図書贈呈会

中央図書館では定期的に、図書贈呈会を実施しています。図書館蔵書と重複等した図書を贈呈しています。

今年度は5月に引き続き、11月にも開催しました。たくさんの方にご参加いただき、図書館での役目を終えた資料が新たな場所へ旅立ちました。



図書贈呈会 Q&A

図書贈呈会について、お問い合わせの多い質問をピックアップしました。
次回の開催もお楽しみに！

Q. 会場はどこですか？

A.
中央図書館 地下1階プレハブ書庫内
です。
図書館と池田記念講堂の間の通りを
入り、すぐ右手です。図書館内では
行っていません。



この看板が
目印です！



Q. 何冊もらえますか？

A.
<図書>
上限は1日30冊まで
最終日は無制限
<雑誌>
毎日、無制限



Q. 持ち帰り用の袋など もらえますか？

A.
ダンボール・手提げ袋等は各自で
ご用意ください。



図書館の とある 日常

図書館の
あれこれ。
中のヒトが
伝えます。



【学生選書ツアー】

9月9日（火）に紀伊國屋書店・新宿本店にて、2025年度「学生選書ツアー」を開催しました。

選書ツアーは、学生のみなさんが書店へ足を運び、図書館に置きたい本を直接選ぶ企画です。

当日は創価大学学部学生15名、創価女子短期大学生2名と、伊藤館長、図書館職員2名が参加しました。

＜学生の感想＞

「普段買うことができないような本を、多くの本の中から選ぶことができ、とても充実した時間となりました。自分たちの手で、図書館を創っていくという実感が、嬉しかったです！」



【第27回図書館総合展】

図書館界最大のコンベンションである第27回図書館総合展が10月22日（水）～24日（金）、パシフィコ横浜にて開催されました。

10月24日（金）に開催された第9回全国学生協働サミットフォーラムでは、全国8大学の図書館学生協働団体から実践報告があり、本学 Soka Reading Project (*以下「SRP」) が活動報告をおこないました。

三木綾華さん（国際教養学部4年）と岩間夏美さん（法学部4年）が登壇し、「Soka Book Wave 全学読書運動」の取り組みや、SRP主催のイベント内容、特に力を入れて

いるInstagramでの発信活動について発表しました。3日間を通して、「ポスターセッション」ブースにも出展しました。



【青春トークライブ！

～続ける力、エンタメのかたち～

12月3日（水）、本学卒業生でお笑い芸人・DJと多方面でご活躍されているエレキコミックのやついいちろうさんをゲストに迎え、中央図書館1階ラーニング・コモンズにて「青春トークライブ！～続ける力、エンタメのかたち～」を開催しました。

大学時代の思い出を綴ったエッセイ『それこそ青春というやつなのだろうな』（バルコ出版）、そして、当日までに参加者から寄せられた多くの質問をもとにトークが行われ、大盛況のイベントとなりました。



【読書人カレッジ】(協力：株式会社読書人・日本財団)

11月26日（水）、韓日翻訳家の小山内園子氏を講師に迎え、中央図書館1階ラーニング・コモンズにて「読書人カレッジ」を開催しました。

小山内氏は「今知りたい韓国と韓国文学とのテーマで韓日翻訳家の仕事や韓国文学の魅力について講演を行いました。「今日のイベントをきっかけに、一冊でも多くの韓国の本を読んでいただければ嬉しいです」と語りました。

最近の 企画展示

《学生選書ツアー》

2025.12.01～12.23
9月に開催された「学生選書ツアー」。

学生が図書館に置きたい本として選書したものを見ました。



《声に出したくなる一遍》
2025.11.02～11.30
読書の楽しさを再発見！
言葉の美しさや物語りの世界観を深く味わってもらえるように、小説、詩集、エッセイなどのジャンルをつくって展示しました。



TOSHOKAN 図書館掲示板 KEIJIBAN



8:30~21:00

10:00~17:00

9:00~21:00

休館

1

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

学年末長期貸出のお知らせ

学年末の長期貸出期間が始まりました。本学の学生の方は、ご実家などの遠方にいる方でも宅配貸出を利用することで中央図書館の本を借りることができます（往復送料自己負担）。大学生活で一番長い休みを利用して本を1冊、5冊、10冊と読破してみませんか。

学部生・別科生・短大生：2週間貸出者

2026年1月15日（木）～3月20日（祝・金）

教職員・大学院生・通教生：4週間貸出者

2026年1月15日（木）～3月9日（月）

一斉返却日：2026年4月7日（火）

卒業予定者返却日：2026年2月13日（金）

卒業予定者の皆様へ

未返却図書がある場合は、学位記授与を保留にする制度（「学位規則」第16条第2項）が適用され、全て返却または弁償するまで学位記が受け取れません。郵送での返却（送料自己負担）も受け付けております。